

福島県立医科大学附属病院での手術症例について

福島県立医科大学医学部 甲状腺内分泌学講座

福島県立医科大学松本佳子等により 2012 年 6 月から 2021 年 9 月までに同大附属病院において外科治療が施行された 220 例の臨床所見および病理所見についてまとめた記述的研究「Clinicopathological Findings of 220 Pediatric, Adolescent, and Young Adult Patients with Thyroid Cancer in Fukushima Medical University Hospital」が、米国甲状腺学会の公式ジャーナルである Thyroid 誌にオンライン掲載（PMID: 39397568 DOI: 10.1089/thy.2024.0226）されたことからその内容を報告する。

手術症例の臨床、病理所見の詳細に加えて、約 90%で実施されている低侵襲な片葉切除術では嗄声や副甲状腺機能低下症といった遷延する術後合併症が見られていないことが、本報告より明らかになり、甲状腺検査によって発見された甲状腺癌に対して慎重かつ適切な治療が行われていることが示された。

男性：女性 85:135

診断時年齢（歳），中央値（四分位範囲）18.6（16.2，20.3）

手術時に確定した腫瘍径（mm），中央値（四分位範囲）13.0（10.4，18.0）

結節を複数認める症例 18（8.2%）

手術術式

甲状腺全摘術 21（9.5%）

甲状腺片葉切除術 199（90.5%）

術前リスク分類*1

超低リスク 43（19.5%）

低リスク 121（55.0%）

中間リスク 47（20.5%）

高リスク 9（4.1%）

*1：「甲状腺腫瘍診療ガイドライン 2018」乳頭癌の術前リスク分類に従う

手術後診断*2*3

腫瘍径 pT1a 47（21.5%）、pT1b 126（57.6%）、pT2 19（8.7%）、pT3a 15（6.9%）、pT3b 7（3.2%）、pT4a 5（2.3%）

リンパ節転移 pN0 45（20.6%）、pN1a 144（65.8%）、pN1b 30（13.7%）

遠隔転移（肺転移）4（1.8%）

病理診断 通常型乳頭癌 205 (93.2%)、濾胞型乳頭癌 3 (1.4%)、充実型乳頭癌 2 (0.9%)、びまん性硬化型乳頭癌 2 (0.9%)、篩状モルラ癌 4 (1.8%)、濾胞癌 1 (0.5%)、低分化癌 1 (0.5%)、その他 2 (0.9%)

病理所見 顕微鏡的甲状腺外浸潤 112 (51.1%)、血管内浸潤 108 (49.5%)、リンパ管内浸潤 47 (21.7%)、リンパ節外浸潤 33 (15.1%)

年齢中央値が 18.6 歳であることから、18.6 歳未満群(110 人)と 18.6 歳以上群(110 人)での所見の比較を行ったがいずれも統計学的有意差はみられていない。

*2：病期分類は UICC 第 8 版、病理診断は WHO 分類第 5 版に従う。

*3：腫瘍径、リンパ節転移、病理所見は、手術後に良性となった 1 名を除いているため 219 症例が対象。病理診断については 220 例を対象。

手術後合併症

片葉切除された症例には甲状腺機能低下症（ただし橋本病で手術前から甲状腺ホルモンを服用していた症例を除く）、副甲状腺機能低下症、反回神経麻痺、嚥声は認めなかった。

全摘術を施行された症例では 1 例に一過性の反回神経麻痺、2 例に副甲状腺機能低下症を認めた。

参考資料*1

pT 分類

- pT1： pT1a：甲状腺に局限し最大径が 1cm 以下の腫瘍（最大径 \leq 1cm）
pT1b：甲状腺に局限し最大径が 1cm をこえ 2cm 以下の腫瘍（1 cm<最大径 \leq 2 cm）
- pT2： 甲状腺に局限し最大径 2cm をこえ 4cm 以下の腫瘍（2 cm<最大径 \leq 4cm）
- pT3： pT3a：甲状腺に局限し最大径が 4cm をこえる腫瘍(4cm<最大径)
pT3b：大きさを問わず前頸筋群(胸骨舌骨筋、胸骨甲状筋あるいは肩甲舌骨筋)に
明らかに浸潤する腫瘍
- pT4： pT4a：甲状腺の被膜をこえて次のいずれかに浸潤する：皮下脂肪組織、喉頭、気管、
食道、反回神経
pT4b：椎骨前筋群の筋膜、縦隔の大血管に浸潤するあるいは頸動脈を取り囲む腫瘍

注 1：断端の所見を記載する必要はない。

注 2：周囲脂肪組織のみへの浸潤は甲状腺に局限しているとみなす。

pN 分類

- pN0： 所属リンパ節転移なし
- pN1： 所属リンパ節転移あり
pN1a：頸部中央区域リンパ節(I, II, III, IV, XI)に転移あり
pN1b：一側、両側もしくは対側の頸部外側区域リンパ節(Va, Vb, VI, VII, VIII, IX)
に転移あり

*1：甲状腺癌取扱い規約第 8 版